

1. 調査報告概要表

作成日 平成20年5月28日

【評価実施概要】

事業所番号	3471502256
法人名	有限会社 松永メディコ
事業所名	グループホーム 敬愛
所在地	福山市松永町5丁目9-11 (電話) 084-930-0303
評価機関名	特定非営利活動法人 医療福祉近代化プロジェクト
所在地	広島市安佐北区口田南4-46-9
訪問調査日	平成20年5月27日

【情報提供票より】4月29日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 14 年 6 月 1 日
ユニット数	2 ユニット
職員数	常勤 人, 非常勤 人, 常勤換算 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨、鉄筋 造り 3階建ての、2階 ~ 3階部分
------	-----------------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	180,000	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1170	円	

(4) 利用者の概要(5月19日現在)

利用者人数	18名	男性	4名	女性	14名
要介護1	1名	要介護2	5名		
要介護3	1名	要介護4	6名		
要介護5	5名	要支援2	0名		
年齢	平均 83歳	最低	67歳	最高	97歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団 涼風会 佐藤脳神経外科 かやの歯科
---------	-----------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

敬愛は交通量の少ない住宅地に位置し、運営母体である脳神経外科の認知症状のある退院者が、最も良い環境で生活を維持されることを目指されて開設された経緯があります。開設以来の長期の入居者が殆どで、加齢による病状の重度化が進んでいる現状の中、看護師であるホーム長を中心に「寄り添う介護」に重点を置き穏やかな日々が保たれています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>地域密着型のサービス施設である認識はされているものの、近隣の状況(町内会長が毎年変わる)などもあり又入居者の加齢による症状の重度化で地域への働きかけが困難との報告がされた。しかし、母体法人と共に地域包括や市関係者との相談もされ地域に根ざした施設にされることを期待します</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者、職員一体となって今回の評価に取り組み、評価の意義を理解し、外部評価についても今後の運営の改善に取り入れる体制であった</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4)</p> <p>運営推進会議では施設の現況を説明することで経過している。今後の課題として地域包括センターや市介護関係に働きかけを行い運営推進会議への参加を求め、会議の活性化を図りホームの運営の改善に役立たせられることが期待される</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>イベント時の便りの発行や月1度の生活状況のおしらせを送り、家族の面会時には意見を求めて、職員で共有し日々の支援に反映している</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>運営母体が開催するお祭りには近隣からも多くの参加者を得ている経緯があり、運営母体と一体となり地域包括センターの協力を得るなどして、近隣地域との接点を広げられ、ホームへ気軽に立ち寄っていただく機会を作られる事を期待します</p>

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「家庭的、家族的に」と口頭で表現され穏やかな寄り添う支援が行われているが、施設入口や共有部所には理念の明確な表示はされていない		職員の言葉や行動から施設としての家庭的な支援の体制は窺うことができるが、地域密着型サービスを担っているホームとしての理念の明確な表現が求められます。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	個々の利用者に対して細部に渡って寄り添った介護の引き継ぎは行われ、ミーティング等も行われているが、明確な言葉での理念の共有は図られていない		ホーム開設以来の穏やかな温かい雰囲気盛り込まれ、職員全員で親しまれ共有される、理念を作られることが早急に望まれます。
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	お祭りなどには近隣者と共に参加されているが、入居者の症状が重度となり外出回数は減少している		運営母体と協働して認知症に対する近隣への理解の啓蒙をされる工夫が望まれます
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者、職員は評価の意義を理解され熱意をもって受け入れ、進んで業務などの改善に取り組まれる体制であった		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	現状ではホームの状況説明に終わっている		地域包括センターや市の介護関係の職員等の参加を求められて意見の交換をされることが望まれる

グループホーム敬愛

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市側の説明会に出席するのみに留まっている		市の担当者との会話を積極的に求められて、ホームで抱えている問題点等の相談の機会を作る
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月の請求書送付時に、個別に作ったホームでの生活状況を報告するお便りを同封している		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	職員全員が家族と親しく会話ができるので、家族の意見が汲み取りやすい		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	2ユニットの職員はローテーションで2～3階の勤務をし、全ての職員が入居者と馴染みになるように努めている		
得ているm					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月1回行われるミーティングで統一した指導を行い、研修への参加者よりの情報提供や職員よりの意見を上げながらレベルアップに努めている		職員数の不足により、研修への参加が休日を利用したの参加になる事もあり、研修の機会を失うこともある
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	現況では交流は行われていない		管理者も職員よりも同業者との交流を希望されている。地域包括や市の介護関係課等の働きかけを求めて交流を作られることが望まれる

グループホーム敬愛

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入所当初には家族の面会を頻繁にしてもらうように要望している</p>		<p>体験入所を試みている施設もある。</p>
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>入所者の老化による症状の重度化で寄り添う介護に重点を置くよう担当かかりつけ医から指示されている。近隣に位置するかかりつけ医への通院介助が外出の機会とされている</p>		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>一人ひとりとの対話を大切にもらえ本人の希望することを申し送りにも表示して、対応している</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>一人ひとりにかかわって気づきや語られた内容を主として家族と話し合い、ミーティングで検討して計画に取り入れている</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>日々の記録書(当施設で考案された)をもとにして変化に気づくようにし、家族と関係者と相談して見直しを行っている</p>		

グループホーム敬愛

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	1階にある機械浴槽をデイサービスの休日を利用して、入浴困難な入居者の入浴を支援している。ドライブや買い物の支援はデイサービスの空く日曜日に車を利用して行っている		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居者のかかりつけ医は母体医療機関であり、定期的に(1か月に1回)受診又重度者には往診がされ、投薬、その他の指示がされている		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	日常の受診や往診でホームでの対応が不可能と認められる場合は、全面的に母体病院で受け入れる体制が取られている		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	寄り添った介護に重点が置かれ一人ひとりの着替え、排泄介助等職員は状況に応じた個別の対応をしている		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	広々としたリビングでゆったりとした時間の中で入居者は各自の居場所を決めて座り、職員との会話を楽しまれている。		

グループホーム敬愛

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は炊飯のみが各ユニットで炊かれ、副食は近隣にある法人内の厨房で作られ、入居者同伴で職員が受け取りに出かけるシステムになっている。症状の重度化で食事介助を受ける入居者が多人数である		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	少数の軽度入居者は希望する時間に入浴を楽しんでいるが重度の方に対しては、日曜日1階のデイサービス用の機械浴槽で対応している為、週中は清拭を行っている		施設設備の関係上入浴介助は要望に添えていないが、やむをえない状況である
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日常的には洗濯物整理、厨房への受取等声かけで行われている。法人全体で催される花見やお祭りには全員で参加され楽しんでいる		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	希望者には付き添って外出しているが、重度化して車いすの方が殆どで、日中車いすで一人の職員が対応することで室内の見守りが手薄となり、外出頻度を少なくしてしまう		ホーム長が望まれる人員配置が整えられて、入居者の外出の支援が多くされることが望まれます
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ホームが2階3階に位置しているため、本人の希望される時に職員同伴でエレベーター並びに玄関は開かれる、1階のドアはデイサービスと共用であるから、安全のために施錠されている		施設が2階、3階に位置しているため、外に開かれた状況を作るのは困難であるが、職員と同伴する外出の機会が多く作られることを期待します
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回の避難訓練を行っている、内一回は消防署立会である、もう一回は入居者を交えて避難の実施を行っている		

グループホーム敬愛

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	日々の記録表で食事量や水分摂取量の集計をし一人ひとりの状態を把握している、ミキサー食、刻み食、胃ろう食など個別に対応している		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用の空間であるリビングは他の施設に比べても広く採光もよい食卓の他ソファーも種々な方向で置かれ、開放感ある雰囲気を作られている		広いリビングの利用方法を今一歩進められ、外出の少ない入居者に季節感のある楽しみの場所を提供される工夫が望まれます
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	個々の個室はテレビや冷蔵庫が置かれている部屋もあり、自分らしい生活空間が作られている		殆んど寝たきりの方に対しては介護職員が頻繁に出入りされており、病室的な雰囲気がある。家族との話し合いをもたれ、職員のアイデアで季節感のある温かい雰囲気作りをされることが望まれます